



下呂市農業委員会だより

平成27年4月1日発行

vol.6

下呂市農業委員会

下呂市秋原町秋原1856 TEL.0576-52-2000 <http://www.city.gero.lg.jp/> ⇒ 市政情報 ⇒ 下呂市農業委員会

平成25年9月の本たよりでも「まめやかな農家訪問」記事に登場いただいた成田さん。一層の家族経営の発展をお祈りさせていただきます。



家族経営協定締結調印式

「ともに歩んでくれる息子と、互いに責任ある経営を目指すために協定をきっかけにしたい」と茂さん（中央右）
「情勢を見極め、父と共に地域に誇れる農業経営を築いていきたい」と正樹さん（中央左）
立会人一同もこの思いに対し、支援していくことを誓いました。



協定調印する茂さん（中央）・正樹さん（左）



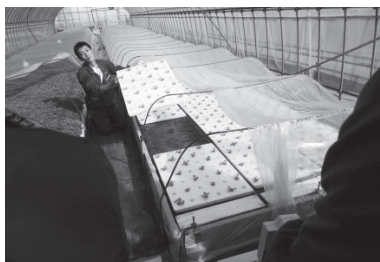
調印された協定書を受け取る茂さん（左手前）・正樹さん（左奥）

1月23日、萩原地域（野上地区在住）で水稲・ほうれん草を主に経営をされている、成田茂さん・正樹さん親子の間で家族経営協定が締結されました。

家族経営協定を締結しました



また、2月5日には、17名の委員で、愛知県豊橋市農業委員会を訪問し、農業委員会の建議活動、農業後継者の婚活取り組みなどについて先進事例を伺い、また、意見交換を行いました。



11月13・14日にかけて、兵庫県内で行われた「全国農業担い手サミットinひょうご」に、13名の委員が参加し、当地農業者の取り組みを現場で拝見させていただき、研修してきました。

農業委員の研修活動（担い手サミット・先進地視察・担い手研究大会）

～委員レポート（一部・抜粋）～

11/13・14 担い手サミット

高齢化、担い手不足という課題に対し、水耕栽培といった新技術開発に取り組み立ち向かう姿に感銘を受けた。

2/5 農業委員会視察

農業委員会そのものを見ることができ、本市での活動以外の部分を知り、参考にしていきたい。

2/6 担い手研究大会

高単価だが小分けにすることで手に取りやすいお米の売り方を聞き、このような発想の転換が必要と感じた。

それぞれの実情に応じた取り組みをされている中から、当市にマッチした形で吸収するべく、委員会において検討し取り組むたいと考えています。



2月6日には、前日に引き続き、17名の委員で、岐阜市で開催された「岐阜県農業担い手研究大会」に参加し、事例講演を聴講し学んできました。

農地利用状況調査の結果をお知らせします

平成26年度9～10月を中心に行われた農地の利用状況調査について、下呂市全体の荒廃農地（耕作放棄地）は321.9haで、そのうち128.1haが再生可能な農地、193.8haが山林・原野化などにより再生困難な農地でした。これらの荒廃農地について、農業委員会では荒廃農地所有者の方に意向調査を行い、自己・貸出による耕作再開につながるよう活動していきます。

耕作放棄地の解消は、一朝一夕にはいかないのが現状です。取り返しのつかない状態にならないよう、草刈り等適正な農地管理にみなさまご協力ください。（下段記事もご参照ください）

	再生可能	再生困難	荒廃全体	農地全体
萩原	25.4	29.7	55.1	418.7
小坂	12.1	10.2	22.3	118.6
下呂	36.6	88.5	125.1	480.0
金山	41.5	50.2	91.7	347.8
馬瀬	12.5	15.2	27.7	147.6
計	128.1	193.8	321.9	1512.7

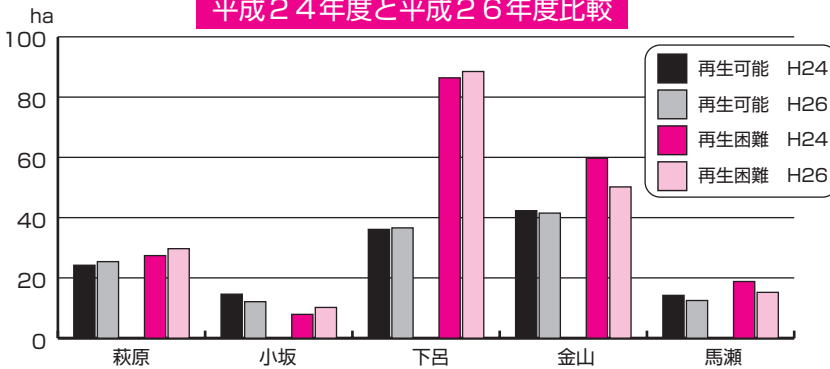
(単位: ha)

市内農地の5分の1強が耕作放棄地化

2年前結果をたよりにてお知らせした際、全農地に対する

- 耕作放棄地は…再生可能＝8.5%、再生困難＝12.9%でした。
- 今回の結果は…再生可能＝8.5%、再生困難＝12.8%と、ほぼ横ばいとなっています。

平成24年度と平成26年度比較

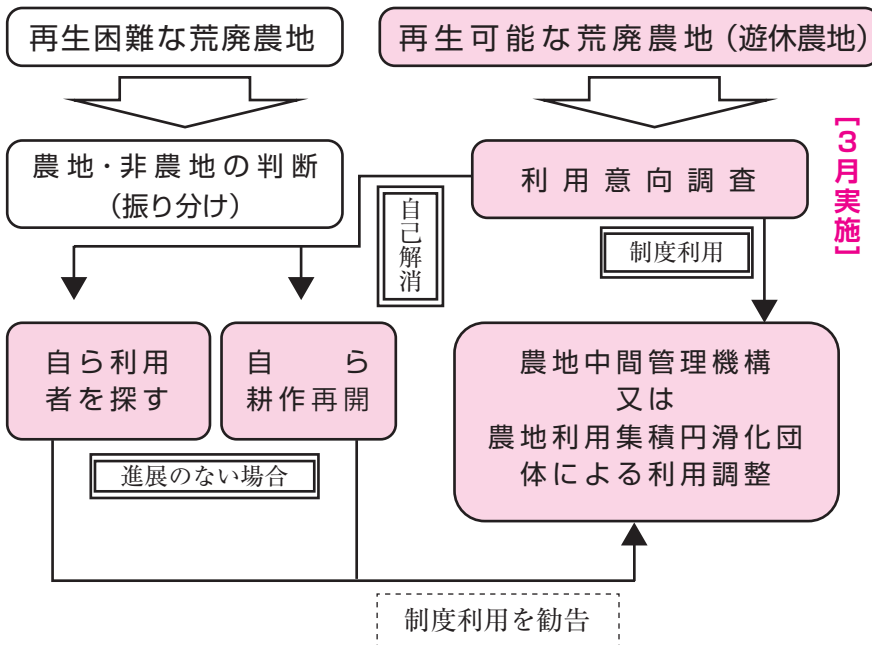


農地の利用意向確認と解消に向けて

上段での利用状況調査の結果をうけ、農地法に基づく利用意向確認などの耕作再開へ向けての手続きを行っています。

今回の調査で再生可能な荒廃農地（遊休農地）をお持ちである方に対し、今後の利用についての意向調査を行い、その意向に基づいて耕作再開に向かうよう推進します（左図が一連の流れです）。

この手続きに沿いまして、3月に意向調査の配布とその返送を対象者の方へお願いしたところです。また、以後の手続きにご理解ご協力をお願いします。



国においては、農業の担い手に農地を集約し、面的まとまりを持った農業経営となるよう各種施策を展開中です。

遊休農地においても、自ら解消する目途がない場合は、農地中間管理機構などの集約事業を利用されるよう、制度化されています。

制度調整中においても、可能な限り解消、遊休化食い止めに協力ください。

減らそう！ なくそう！ 遊休農地

まめなかなか！農家訪問

金山生まれ、金山育ちのおいしい飛騨牛を生産したい



金山町菅田桐洞 (株)佐古牧場 代表取締役 佐古 健さん (三十六歳)

4年前に、父、保さんの個人経営であった家業を法人化した際に、経営移譲も同時にされ、会社の代表取締役に就かれた健さん。家業を継いで牛を飼おう、との思いは中学・高校の頃から持つておられたそうです。現在約300頭、うち母牛100頭弱の規模で繁殖・肥育一貫経営のかじ取りをされていますが、代表になられた当時からをこう振り返られました。

「もともと肥育部門を任されていて、経営のメイン部分の責任の重さを感じながらやってきましたが、代表になって一層、会社を維持していかなくてはならない、全体を把握して経営していかなくては、と思うように

なりました。

当初はよく父ともケンカになりましたが、父の意見、自分のやりた



いこと、それを話し、ぶつけあったことで今はバランスとれた運営になっているのかなと思います。言わずにいるより意見交換できたことで最終的にうまくいったのかな」

地域の農地を荒らさないように、牛を育てるうちに作られる堆肥を使い、畑で飼料を作り、牛を育てるという循環型農業に取り組んでおられる佐古さん。年に約80頭出荷を100頭出荷に規模拡大したいとの展望も話していただきました。「もう一度、佐古牧場の牛肉を食べたい」と思ってもらえるおいしい飛騨牛づくりをしていきたいですね」と取材を締めていただきました。

(高木康則委員取材)



お忙しい中、取材に快く応じていただきました。
下は堆肥を飼料用作物を自ら作られる圃場に搬入されている様子です。

市農政の動き

下呂市の「獣害対策事業」が変わりました
〜個から集団へ・脅しから阻止へ〜

下呂市では、有害鳥獣による農作物被害を阻止するための「防止柵」購入費について補助金を交付する事業を行っていますが、平成27年度より内容を一部見直しました。

平成27年度からの新補助

補助対象者	補助対象経費	補助率	補助限度額
農業者 (個人)	電気柵購入費	1/3以内	50,000円
	物理的進入防止柵購入費	1/2以内	100,000円
団体 (2戸以上)	電気柵購入費	1/2以内	500,000円
	物理的進入防止柵購入費	2/3以内	500,000円
集落	電気柵購入費	3/4以内	500,000円
	物理的進入防止柵購入費	3/4以内	1,000,000円

新補助のポイント

- まとまつの対策に、より有利な補助になりました。

個人分の農地を守るだけ、農地部分を守るだけでは野生動物の集落進入は防ぎきれません。地域ぐるみで取り組みできるよう、「集落」を補助対象者に加えました。

- 心理柵から物理的侵入防止柵での対策へ

電気柵は、一度電気ショックを受けた動物を、「近寄りたくない」という心理にさせることで食い止めようというものですが、下草や積雪などにより効果が得られないことがあります。年間通じて餌を求め侵入する野生動物に対しては、常設で効果の得られる、物理的な侵入防止柵を設置し対応するのが効果的です。比較して効果の高い取り組みに対して、より補助できるよう区分を設けました。

農地中間管理機構

公的機関が中間受け皿となつて、耕作困難となつた農地を借受け、まとまりのある形で農業担い手に貸し付ける事業を行っています。
農地の貸付先が見つからずお困りの際はご一報を！

●農地中間管理機構(一社)岐阜県農畜産公社 Tel 058-215-6435
●下呂市内の相談窓口：下呂市役所 農務課 Tel 0576-152-2000



農業者年金で未来の自分へ安心を積み立てませんか？
 少子高齢化に強い積立方式・確定拠出型年金です。

- ① 年間60日以上農業従事
- ② 国民年金第1号被保険者
- ③ 60歳未満

以上を満たせばどなたでも加入できます。
 農地権利等の条件はありません！



今回、集中訪問として2日間で8名の方にご説明をさせていただきました。12月については制度推進月間でまわってご訪問しましたが、随時要望がありましたらご連絡ください。

いつでもご説明に向かいます！

「制度について、「知らなかった」「知っていたら加入していたのに」となることのないよう、周知に取り組んでいきます。

農業者年金戸別訪問を行いました

12月16・17日の2日間、農業者年金制度について、戸別に伺って詳細説明をさせていただきました。



- 作り方
1. ほうれん草は4〜5cmの長さに切り、玉ねぎは薄切り、エリンギは半分長さの薄切りにする。ベーコンは2cm幅に、食パンは1枚を9つに切る。
 2. フライパンを火にかけ、バターを溶かして1.の野菜とベーコンを炒める。余分な水分はペーパーで吸い取る。
 3. ボウルに卵を割りほぐし、牛乳と生クリームを加えて混ぜ、塩・コショウで味付けする。
 4. 耐熱皿かケーキ型（底の抜けないもの）にバターを塗り、食パンを敷き詰め、2.の具を広げて3.を流し入れる。
 5. チーズを散らして、200℃のオーブンで20〜25分焼く。
 6. あら熱が取れたら型から外し、6等分する。

● 材料（7号ケーキ型1個分）

ほうれん草	1袋	玉ねぎ	1/2個
エリンギ	2本	ベーコン	3枚
バター	15g	食パン（6枚切）	2枚
卵	3個	牛乳	100cc
生クリーム	100cc	塩	小さじ1/2
コショウ	少々	ピザ用チーズ	80g

● ほうれん草のキッシュ

楽農楽食

お子さまでもおいしく
たっぷり野菜を！

〈編集後記〉

温暖化がここまで進んできたのか、昨年は天候がおかしくて、小坂の我が家では初めて干し柿がうまくできませんでした。熟して落ちてしまったり、カビが生えたり…。

天候の異変に我慢して対処しているところですが、いま、国の農政も大きく変わろうとしています。農協、そして私たち農業委員会の体制も大きな変換に向かおうとしています。その中で、下呂市のような山間地の農業がなりたつよう、ただ流されるだけではないと感じています。（日下部）

● 編集委員

・松嶋 光秋 ・高木 康則 ・林 忠和
 ・日下部俊雄 ・二村 明

春の農作業安全確認運動

1年間の農作業のうち、春作業に事故が多発しています。機械・車両などの操作時は安全に留意しましょう！



農家の経営と暮らしに役立つ週刊の農業総合専門誌です。農業の時事問題解説に力を入れ、事例が豊富です！

農業者の視点でお届けします

週刊

《金曜日発行》

月 600円
 年 7,200円

（年間購読割引あり）お申込みは農業委員会まで